

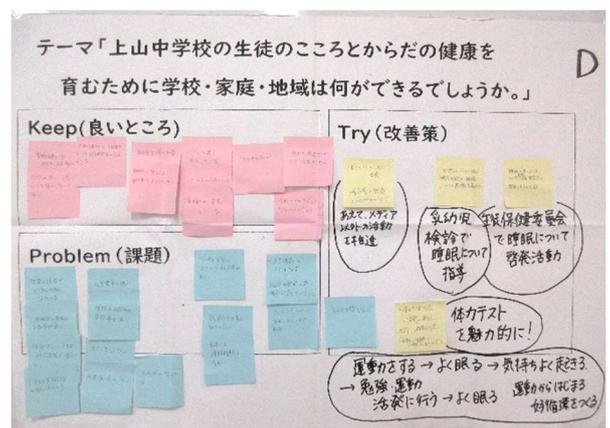


令和6年度第3回学校運営協議会（CS会議）開催

令和6年10月2日（水）午後、上山中学校で開催されました。

第一部 学校保健委員会

学校運営協議会委員、学校医、地域担当保健師、校区内小学校養護教諭、PTA代表、学校職員が出席しました。まず、生徒の現状について健康保健、給食、体力の3つの観点から報告があり、それらを受けて「上山中学校の生徒のこことからだの健康を育むために学校・家庭・地域は何ができるか」を協議テーマにグループに分かれて話し合いました。多角的な視点から意見が出され、地域の方々が生徒の健康を守りたいと熱く思っていることを感じる時間になりました。



第二部 協議会

〔1〕開会のあいさつ 山崎 光子 会長

先日の体育祭を見学し、競い合うというより、各軍団同士が称えあって学び合う場であったように思えました。これから音楽発表会に向けてクラスごとに団結力が高まっていく時期になると思います。先生方のサポートをお願いしたいと思います。

〔2〕校長あいさつ 桑原 通泰 校長

先日の体育祭は雨の心配もありましたが、無事終わることができました。本校は今、音楽発表会に向けて練習が始まっており、生徒たちの歌声がいろいろなところから聞こえてきています。当日、良い発表をしてくれることを期待しております。

〔3〕上山中学校の現状と課題

（1）「校則見直し」にかかる取り組みの進捗状況 渡辺学 生徒指導主事

『目指す学校像』【「安心安全」「ワクワク」を実現できる学校】を基準に、校則見直し活動を通し、自ら考え、判断・行動し、その結果にも責任をもつことができる主体的に生きる力を育むことをねらいとして生徒会活動を企画運営してきました。

規律委員会では、＜長袖体育着を着たら半袖体育着は中に入れる＞＜式典や公の場では、各自が判断して欲しいが、裾を入れたほうが望ましい＞といった条件を考えた上で、今夏、原則、暑さ対策で半袖体育着のシャツ出しを実施した。

この取り組みを進めていくにあたり、生徒から**登下校時にシャツを出すことは地域の目からどう映っているのか気になる**との声があがっているため、皆様の意見をお聞きしたい。

委員から

- ・ 肌が見えたりせず、安全面で問題がなければ、一般的なファッションとして認められている着方であるので続けてよいと思う。
- ・ 生徒が地域の方々からの見え方を意識し、地域社会の一員として考えている点に感心した。
- ・ 地域の目を気にせず、考えたことを実行して欲しい思いもある。

今後の見通しとして、この「シャツ出し」について見直す活動をきっかけに、後期は校則の内容を規律委員会を中心となって具体的に見直していく。

(2) 「部活動の地域クラブ化」にかかる取り組みの進捗状況

桑原 通泰 校長

将来的に部活動が平日・休日問わずに地域活動になることに向けて、令和5年度から段階的に準備を進めている。

現在、当校でもいくつかの部活動が保護者や地域の方々の支援を受けて活動しているが、運営の難しさを抱えているのも事実である。私たちとしては、生徒の想いが叶うようサポートしていきたいと思っている。



〔4〕 閉会のあいさつ 朝倉 奏 副会長

校則の見直しも部活動の地域クラブ化も何が正解かわからなくなります。大事なことはやはりいろいろな意見に耳を傾けて、自分の意見を伝え話し合うことなのではないかと思いました。

校則の見直しについては、子ども達にもしっかり話し合っただけでなく、納得のいく結論を出して欲しいと思います。

令和6年9月12日、デンカビッグスワンエコスタジアムで開催された

体育祭 輝 かがやき ～4色の絆を深めよう～ 〈各チームのパネル〉

